

東京大学大学院工学系研究科「医療社会システム工学寄付講座」シンポジウム
H24年度 PCAPS研究会・QMS-H研究会 成果報告シンポジウム
H24年度 文部科研 医療の質向上を実現する質マネジメントシステムモデルの開発と検証成果報告

社会技術としての医療の基盤構築

2013年3月2日(土) 於: 東京大学工学部2号館213号室
2013年3月3日(日) 於: 東京大学農学部弥生講堂一条ホール

PCAPS研究会代表: 水流聡子(東京大学), 顧問: 飯塚悦功(東京大学), アドバイザー: 棟近雅彦
QMS-H研究会代表: 飯塚悦功(東京大学), 副代表: 棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

医療は社会技術です。ここでいう社会技術とは、社会が全体として保有していなければならない技術(目的達成のための再現可能な方法論)という意味です。社会技術の具体的形態としては、社会常識化、BOKの構築、実装の3つが考えられます。すなわち、質・安全に対する取り組みや知識構造モデルに関する常識が社会に受け入れられること、必要な構造化知識が構築されて利用可能になり、アップデート可能になること、およびこれらの常識・構造化知識が現実の医療機関において活用され、効果を上げることです。

ここで対象とすべき技術には、医療に固有の知識・技術とそれらの知識・技術を組織的に活用するためのマネジメント技術の双方があります。本シンポジウムでは、この2つの技術の構築に向けた議論を2日間にわたって行います。

PCAPSによる臨床知識の構造化研究では、構造化臨床知識を現実の臨床プロセスに実装して運用した実績に基づく知見、および臨床と経営に関するデータの分析可能性・有用性について議論します。

QMS-Hの研究に関しては、医療質マネジメントシステムの全体モデルと、その重要な構成要素である文書管理、教育、管理指標等について、実践的研究成果を紹介します。

PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System: 患者状態適応型パス)

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare: 医療における質中心経営管理システム)

■ 1日目: 2013年3月2日(土) 10:00-17:30 「PCAPSの実装と臨床分析」

I. 統括報告

II. PCAPS実装研究

- ・飯塚病院(脳外科&手術室) ・トヨタ記念病院(周産期 母体管理・新生児管理) ・在宅看護
- ・聖マリア病院(虚血性心疾患・脳梗塞&リハビリ) ・久留米医科大学附属病院 ・禎心会病院
- ・アドミニストレータ集計機能の紹介

III. PCAPSを用いた臨床分析研究

- ・小児疾患, 乳がん, 慢性腎不全(CKD), リハビリ, 慢性閉塞性肺疾患(COPD) など

IV. 地域連携・地域医療システムの設計・評価

V. パネルディスカッション: 他プロジェクトにおけるPCAPSの展開

- ・厚生労働科研: がん研究(若尾班) ・厚生労働科研: ガイドライン研究(中山班)
- ・小児心疾患実態調査(小児循環器学会)

VI. パネルディスカッション: がん診療プロセスの質評価

VII. 運用に向けた臨床知識の構造化と臨床分析(ポスターセッション)

VIII. 講評

■ 2日目: 2013年3月3日(日) 9:30-17:00 「医療 QMSの知識基盤の構築」

I. 本研究会がめざすものとその意義

II. 日常管理システムのパッケージ化とその全体像

- ・日常管理システムに必要な知識基盤

III. 管理指標

- ・管理・改善のための管理指標

IV. 医療質安全教育

- ・教育項目一覧を用いた教育計画立案と実践事例

V. 業務プロセス標準モジュール

- ・医療業務プロセスモデルと標準モジュールの開発

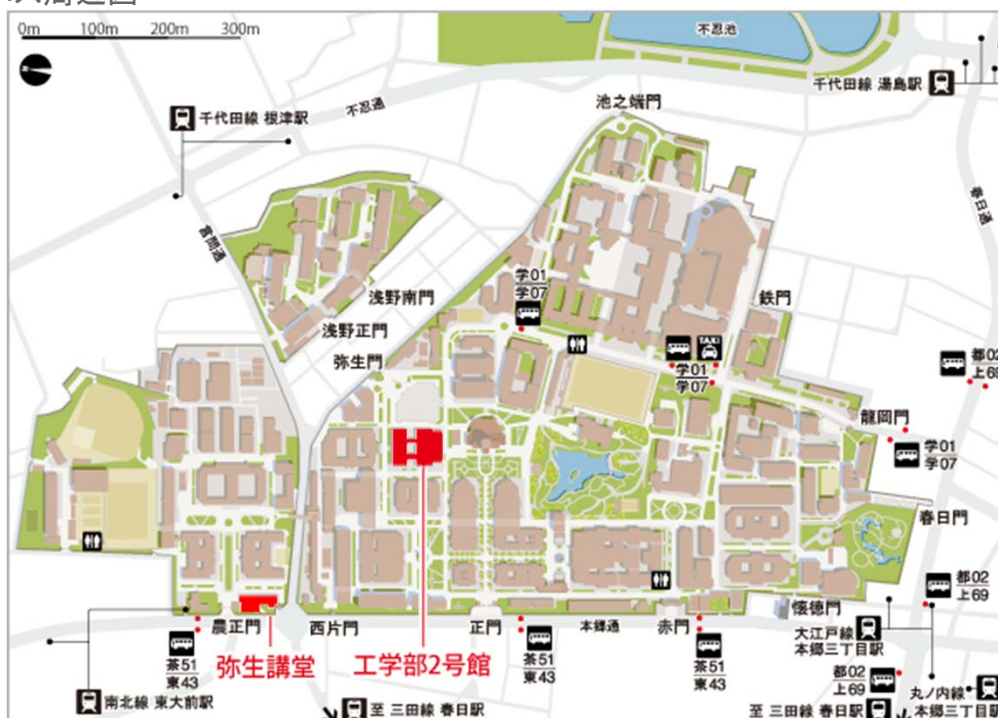
VI. 文書管理

- ・文書管理システムと実践事例

VII. ポスターセッション(24テーマ・80分: 6+3分×8人×3ストリーム)

VIII. 今年度のまとめと来年度以降の計画

キャンパス周辺図



本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩15分
 本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩12分
 湯島駅, 根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩12分
 東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
 春日駅(地下鉄三田線) 徒歩15分

都バス利用 茶51駒込駅, 王子駅または東43荒川土手
 操車所前行
 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
 学バス利用 学07東大構内行 - 東大(龍岡門, 病院前,
 構内バス停)下車

■参加費・参加申し込み:

参加費は無料です。ただし、資料準備のため、必ず事前に参加申し込みをしてください。参加申し込みなく当日参加された場合、資料が準備できない場合がありますので、ご了承ください。

必要事項(ご氏名, ご所属, E-mailアドレス, TEL, FAX, 参加予定)を記入の上, 下記 E-mailまたはFAXでお申し込みください。この用紙を申込書として, FAXにて送付いただきましても結構です(必要事項を必ずご記入ください)。

シンポジウム事務局 E-mail: pcaps-qms@tqm.t.u-tokyo.ac.jp TEL:03-5841-7299 FAX: 03-5841-7276
 PCAPS研究の詳細は, <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/>をご参照ください

【参加申込書】

※1 参加予定欄に下記のア), イ), ウ)のいずれかをご記入ください。

参加予定日 [ア).3/2と3/3の2日間とも参加 イ).3/2のみ参加 ウ)3/3のみ参加]

ふりがな 氏名	ご所属/ 職種	E-mailアドレス	TEL/ FAX	参加 予定※1